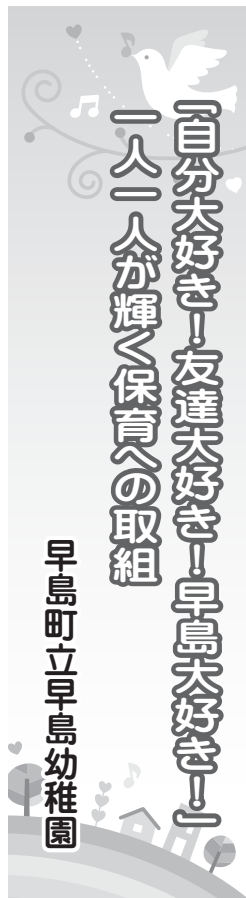


広げよう！優良実践の輪！

～ 令和3年度 優良実践校等の取組 ～

取組 3



1 はじめに

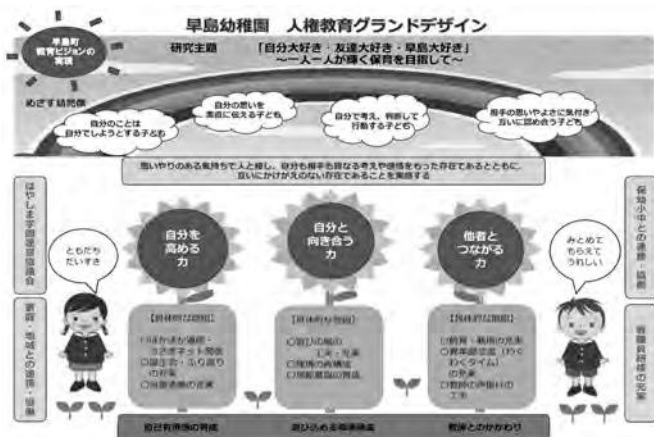
早島町は岡山市と倉敷市の間に位置し、県内で一番小さいけれど人口密度が一番高い町で、町内には幼稚園は本園のみです。「人権学習充実拠点校事業」を受け、研究を進めるにあたって、「幼児にとっての人権教育とは」をテーマに職員間で話し合っていました。

児が夢中になつて遊ぶことができるようにしました。幼児は、自分で考える機会が増え、繰り返し挑戦することや、物の貸し借り、順番待ちなどの経験を重ね、思いやりの気持ちや、自分の気持ちを抑制する力を育成していきましました。

2 取組の概要

これまで幼稚園で取り組んでいた、非認知能力「自分と向き合う力」「自分を高める力」「他者とつながる力」を育成する中で、思いやりのある気持ちや自分も他者も大切にすることを育んでいけるようにしました。

(1) 遊び込める環境構成
自分と向き合う力として、遊びの場の充実をはかり、幼



人権教育グランドデザイン



ザリガニのたらいをきれいにしよう

(2) 自己有用感の育成
自分を高める力として、幼児一人一人に丁寧に接し、具体的な言葉で褒めたり、頑張っている幼児の姿を捉えて認めたりしました。
また、ぽかぽか通信やブログで、保護者や地域に幼児の様子を発信し、地域や家庭と連携しての保育をしていきました。地域の方や保護者に声を掛けられたり、褒められたりして、安心感を持ち、自己発揮ができるようになりました。

3 おわりに

思いやりのある気持ちで人と接し、自分と相手が異なる感情をもった存在であるとともに、互いにかげがえのない存在であることを実感するには、幼児が先生や友達とのかかわりの中で、相手の存在を好きになり、認め合うことが大切だと考えました。それは主体的な遊びの場で培われることだと共通理解し、遊びの環境や教師の関わり方を工夫していきました。こうした取組の中で幼児に思いやりの心が芽生え始めています。

今後も職員間で、幼児の様子や言葉を伝え合いながら、一つのチームとして全園児を見守る保育を続けていきたいと考えています。

(園長 小郷 順子)